

●公益法人 d b Version 6.104、公益法人Ⅲ d b Version 5.104

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP 搭載機へのインストールは不可となっています。

《登録・入力》

◆ 仕訳入力において以下の対応を行いました。

- 検索項目の枝番欄の（枝番 3 桁以上）の表示がマルチウインドウやワイド画面で文字が欠けていたので表示位置を“借方枝番なし”の右横から“貸方枝番なし”の下に移動しました。

枝番:	NOT	01234	~	01234	<input type="checkbox"/> 借方枝番なし
枝番:	NOT		~		<input type="checkbox"/> 貸方枝番なし
枝番:	NOT		~		(枝番3桁以上)
税額:	NOT		~		

- 検索項目の番号欄に数字が入っていると、取消仕訳 (F9) の検索ができなかったのを修正しました。
- 通常入力・出納帳入力で、平成 27 年 4 月 1 日をまたいで日付を変更した場合、税区分等が貸借科目の初期設定に戻ってしまっていたのを、元の状態を保持するようにしました。  
例) 平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日等の 27 年 4 月をまたぐ期間のマスターで、1 月～3 月までに科目の税率・入力区分（内税、外税、別記）を初期設定と異なる税率・入力区分に変更した仕訳を、4 月以降の日付に変更した時に税率・入力区分が科目の初期設定に変更されていました。  
例) 3/31 (外 8) → 4/1 に変更 (内 8) に変わる。(4 月→3 月でも同様)

《通信・移動》

◆ マスター&データ抽出において以下の対応を行いました。

- マスター入替で、「未設定科目エラー（対応付けがされていません。）」が発生した場合に、抽出前の状態への復元処理が正しく行われずに、未送信データが復元されていなかったのを修正しました。

「未設定科目エラー（対応付けがされていません。）」が表示される条件

- \* 科目名称を拡張して使用している。
- \* 拡張した科目の科目名称が、事務所と顧問先とで異なる。
- \* 未送信データに名称不一致の拡張科目の仕訳が存在している。
- \* 転送種別：「顧問先への移動」、「会計事務所への移動」を選択している。

※顧問先と事務所とで名称を統一されている場合は、問題ありません。

《公益法人Ⅲ d b》の《出力》、《決算》

- 公益法人Ⅲ d b で、予算と資金収支予算共に 2 回目以降の科目予算流用が反映されていなかったのを修正しました。(試算表・決算書・内訳表)

※従来からですが、下記のように科目予算流用を行った直後に試算表等を出力すると、予算流用先科目に科目予算流用後の予算が反映されない場合があります。

当面下記の対処方法にて対応をお願いします。

例) 科目予算流用元で、今まで予算登録を行っていない流用先科目にマイナス金額で入力した場合  
流用元科目：事) 給料 手当 → 流用先科目：事) 他 人件費

下記の場合は問題ありません。

- \* 予算流用先科目で、科目予算流用登録を行った場合
- \* 予算流用先科目に当初の予算登録がある場合

【対処方法】

流用先科目で、[F11 詳細入力] を開き、科目予算流用額合計の確認 (科目予算流用登録で詳細を確認していただくことをお勧めします。) 後、変更 (F12) を行ってください。

試算表等で予算実施月の予算に反映されているかご確認ください。